

【呼吸器科】145【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール :3週ごとを1コースとする

Day	-8	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/	/
ライブリバント		↓	休薬	休薬	
ペメトレキセド		↓	休薬	休薬	
カルボプラチン		↓	休薬	休薬	
パンビタン末(経口)	初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する				
メコバラミン注(筋注)	↓				

メコバラミン注(ビタミンB12): 初回投与の少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与する。その後、9週毎(3コース毎)に1回投与する。

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
※①	生食 500mL 6時間
※①	同時に 側管より ポララミン注5mg 1A ガスター注20mg 1A アセリオ点滴静注 1000mg 30分
②	生食 50mL 10分
③	●ライブリバント【 】mg 生食 222mL 125mL/時 投与速度は「■注意事項」参照
④	生食 50mL 10分
⑤	アロカリス注235mg 1V デキサート注1.65mg 2A グラニセロンバッグ 100mL 30分
⑥	●ペメトレキセド【 】mg 生食 100mL 10分
⑦	●カルボプラチン【 】mg 5%ブドウ糖液 250mL 1時間
⑧	生食 50mL 10分

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
ライブリバント	1400mg/body
ペメトレキセド	500 mg/m ² mg/Body
カルボプラチン	AUC=5 mg/Body

薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- ライブリバントは調製後10時間以内に投与終了すること。
- NSAIDsとの併用は注意して下さい。
- 1週間以上前から葉酸を服用していることと、ビタミンB12の筋肉内注射投与を受けたことを確認すること。
- ライブリバントの投与速度
125mL/時
- infusion reactionが認められた場合は投与を中断し、症状が回復した場合、発現時の50%の投与速度で再開する。
再開後の30分間にinfusion reaction の症状が認められない場合、中断時の投与速度まで上げることができる。
その後の2時間以内にinfusion reactionの症状が認められない場合、同日に予定されていた最高速度まで上げることができる。
infusion reactionによる投与中断・再開時に症状が再発した場合、投与中止を検討する。